

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	学科 自動車工学	小教科目	基礎自動車工学			対象級	専門課程 自動車整備留学生科 1年	作成月日	25/04/01
								開講期	前期
教科担当	別紙参照								
実務経験教員授業	非該当	総時限	13時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元試験	取組加減	
〔授業概要・目的〕									
自動車の概要や構造を理解し、三級自動車ガソリン・エンジン整備士の知識を習得する。									
〔授業の到達目標〕									
自動車の基礎的な構造を知り、									
学科試験において、90点以上を目指す。									
〔学習評価の基準〕									
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。									
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの									
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点									
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。									
〔使用教科書・教材等〕									
基礎自動車工学、練習問題プリント、総合練習問題プリント									
授 業 計 画 表									No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)							
	2	導入と自動車の概要							
	4	自動車の構造							
	4	自動車の構造 復習							
	3	総合復習							

授業計画(シラバス)

大教科目	学科 自動車工学	小教科目	エンジン系構造(三級)		対象級	専門課程 自動車整備留学生科 1年	作成月日	25/04/01
							開講期	前期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	35時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 期末試験	取組加減
[授業概要・目的]								
三級自動車ガソリン・エンジン整備士として必要なエンジンの構造に関する知識を習得する。								
[授業の到達目標]								
各章のエンジン構造、機能、整備の知識を習得及び、練習問題等により理解度の向上を図り、								
学科試験において、90点以上を目指す。								
[学習評価の基準]								
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
[使用教科書・教材等]								
三級自動車ガソリン・エンジン、基礎自動車整備作業、練習問題プリント、総合練習問題プリント								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	2	導入						
	2	自動車の機械要素						
	6	エンジン総論						
	6	エンジン本体						
	1	総合復習						
	1	中間理解度チェック						
2	1	潤滑装置						
	1	冷却装置						
	1	燃料装置						
	1	吸排気装置						
	1	半導体						
	1	バッテリー						
	1	始動装置						
	1	充電装置						
	1	点火装置						
	2	電子制御装置						
	1	燃料及び潤滑剤						
	2	練習問題						
	3	総合復習						

授業計画(シラバス)

大教科目	学科 自動車工学	小教科目	シャシ系構造(三級)		対象級	専門課程 自動車整備留学生科 1年	作成月日	25/04/01
							開講期	前期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	35時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 期末試験	取組加減
[授業概要・目的]								
自動車整備士として必要なシャシの構造に関する知識の習得する。								
[授業の到達目標]								
各章のシャシ構造、機能、整備の知識を習得及び、練習問題等により理解度の向上を図り、								
学科試験において、90点以上を目指す。								
[学習評価の基準]								
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
[使用教科書・教材等]								
三級自動車シャシ、練習問題プリント、総合練習問題プリント								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	1	導入						
	1	マスタシリンダ						
	2	ドラム・ブレーキ						
	2	ディスク・ブレーキ						
	1	ステアリング装置						
	1	ドライブシャフト						
	1	プロペラシャフト						
	1	クラッチ						
	1	トランスファ						
	1	制動倍力装置						
	1	ギヤ比						
	1	ブレーキ液						
	3	総合復習						
	1	中間理解度チェック						
2	2	トランスミッション						
	1	アクスル及びサスペンション						
	1	ファイナルギヤ及びディファレンシャル						
	1	ホイール及びタイヤ						

2	1	ホイールアライメント
	1	フレーム及びボデー
	1	灯火装置
	1	冷暖房装置
	1	計器
	1	ホーン、ウインドシールドワイパ/ウォッシャ
	1	サーキットテストの活用
	1	潤滑及び潤滑剤
	4	総合復習

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	学科 自動車工学	小教科目	自動車総論(三級)			対象級	専門課程 自動車整備留学生科 1年	作成月日	25/04/01
								開講期	後期
教科担当	別紙参照								
実務経験教員授業	非該当	総時限	10時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 期末試験	取組加減	
〔授業概要・目的〕									
基礎的な計算方法を学習することで、自動車整備士資格に合格できるレベルの計算力を習得する。									
〔授業の到達目標〕									
自動車整備士として必要な計算の知識を習得し、									
学科試験において、90点以上を目指す。									
〔学習評価の基準〕									
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。									
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの									
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点									
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。									
〔使用教科書・教材等〕									
計算問題を解くノウハウ、基礎自動車工学、総合練習問題プリント									
授 業 計 画 表									No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)							
	2	変速比の問題							
	2	排気量の問題							
	2	駆動トルクの問題							
	1	電力の問題							
	3	総合復習							
		</							

授業計画(シラバス)

[illegible]

授業計画(シラバス)

[illegible]

授業計画(シラバス)

大教科目	実習 自動車整備作業	小教科目	エンジン系構造(三級)	対象級	専門課程 自動車整備留学生科 1年	作成月 日	25/04/01
						開講期	前期
教科担当		別紙参照					
実務経験教員授業	非該当	総時限	79時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 期末試験 レポート評価 取組加減
〔授業概要・目的〕							
三級自動車ガソリン・エンジン整備士として必要なエンジンの構造に関する知識と技術を習得する。							
〔授業の到達目標〕							
安全作業と整理整頓の重要性とその実践を繰り返し行い、習慣化する。							
各エンジン系装置の構成、名称、作動の仕組み、原理を理解し、実習試験において、90点以上を目指す。							
〔学習評価の基準〕							
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点 60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)							
〔使用教科書・教材等〕							
三級自動車ガソリン・エンジン、車両チェックシート、エンジン単品、各種単品部品、実習車両							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	4	工具の種類					
	4	車両チェックシート					
	4	レポートの書き方					
	8	G100エンジン					
	8	エンジン本体単品					
	8	L15Aエンジン					
	2	総合復習					
2	2	中間理解度チェック					
	3	潤滑装置単品					
	3	冷却装置単品					
	3	燃料装置単品					
	3	吸排気装置単品					
	3	半導体					
	3	バッテリー					
	3	始動装置単品					
	3	充電装置単品					
	3	点火装置単品					
	6	電子制御装置単品					
	3	燃料及び潤滑剤					
	3	総合復習					

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	実習 自動車整備作業	小教科目	シャシ系構造(三級)	対象級	専門課程 自動車整備留学生科 1年	作成月日	25/04/01
						開講期	前期
教科担当	別紙参照						
実務経験教員授業	非該当	総時限	79時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 期末試験 レポート評価 取組加減
〔授業概要・目的〕							
シャシ系装置の学科で得た知識を基に、基本的な装置・構造について分解組み立てを行い、理解を深める実習とする。							
〔授業の到達目標〕							
安全作業と整理整頓の重要性とその実践を繰り返し行い、習慣化する。							
各シャシ系装置の構成、名称、作動の仕組み、原理を理解し、実習試験において、90点以上を目指す。							
〔学習評価の基準〕							
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)							
〔使用教科書・教材等〕							
三級自動車シャシ、総合練習問題							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	3	導入					
	3	マスタシリンダ単品					
	6	ドラム・ブレーキ単品					
	6	ディスク・ブレーキ単品					
	3	ステアリング装置単品					
	3	ドライブシャフト単品					
	3	プロペラシャフト単品					
	3	クラッチ単品					
	3	トランスファ単品					
	3	制動倍力装置単品					
	2	総合復習					
	2	中間理解度チェック					
2	6	トランスミッション					
	3	アクスル及びサスペンション					
	3	ファイナルギヤ及びディファレンシャル					
	3	ホイール及びタイヤ					
	3	ホイールアライメント					
	3	フレーム及びボデー					

2	3	灯火装置
	3	冷暖房装置
	3	計器
	3	ホーン、ウィンドシールドワイパ、ウォッシャ
	3	サーキットテストの活用
	3	総合復習

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	学科 自動車工学	小教科目	エンジン系整備(三級)	対象級	専門課程 自動車整備留学生科 1年	作成月日	25/04/01
						開講期	前期
教科担当	別紙参照						
実務経験教員授業	非該当	総時限	27時限	授業方法	講 義	評価方法	学科試験 期末試験 取組加減
〔授業概要・目的〕							
三級自動車ガソリン・エンジン整備士として必要なエンジン系の点検整備に関する知識を習得する。							
〔授業の到達目標〕							
エンジン系の点検方法・調整方法等の整備の知識を習得及び、練習問題等により理解度の向上を図り、							
学科試験において、90点以上を目指す。							
〔学習評価の基準〕							
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点 60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
〔使用教科書・教材等〕							
三級自動車ガソリン・エンジン、練習問題プリント、実力判定問題集、総合練習問題プリント							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	2	エンジン系構造の復習					
	2	半導体					
	2	バッテリー					
	2	始動装置					
	2	充電装置					
	2	点火装置					
	1	総合復習					
2	2	エンジンの点検・整備					
	1	エンジン総論練習問題					
	1	エンジン本体練習問題					
	1	潤滑装置練習問題					
	1	冷却装置練習問題					
	1	吸排気装置練習問題					
	1	電気装置半導体練習問題					
	1	電気装置バッテリー練習問題					
	1	電気装置始動装置練習問題					
	1	電気装置充電装置練習問題					
	1	電気装置点火装置練習問題					
	1	電子制御装置練習問題					
	1	総合復習					

授業計画(シラバス)

大教科目	学科 自動車整備	小教科目	シャシ系整備(三級)		対象級	専門課程 自動車整備留学生科 1年	作成月日	25/04/01
						開講期	後期	
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	27時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 期末試験	取組加減
〔授業概要・目的〕								
整備士として必要なシャシ系の点検整備に関する知識を習得する。								
〔授業の到達目標〕								
シャシ系の点検方法・調整方法等の整備の知識を習得及び、練習問題等により理解度の向上を図り、								
学科試験において、90点以上を目指す。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
〔使用教科書・教材等〕								
三級自動車シャシ、練習問題プリント、実力判定問題集、総合練習問題プリント								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	4	ブレーキの構造と整備						
	4	制動倍力装置の構造と整備						
	2	ホイール及びタイヤの構造と整備						
	2	R／P型ステアリングの構造と整備						
	1	総合復習						
2	3	ブレーキ装置練習問題						
	1	車両法練習問題						
	1	保安基準練習問題						
	2	動力伝達装置練習問題						
	1	アクスル及びサスペンション練習問題						
	1	ステアリング装置練習問題						
	1	ホイール及びタイヤ練習問題						
	4	総合復習						

授業計画(シラバス)

大教科目	実習 自動車整備作業	小教科目	エンジン系整備(三級)		対象級	専門課程 自動車整備留学生科 1年	作成月日	25/04/01
							開講期	後期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	66時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 期末試験 レポート評価 取組加減	
〔授業概要・目的〕								
三級自動車ガソリン・エンジン整備士として必要なエンジン系の点検・整備に関する知識と技術を習得する。								
〔授業の到達目標〕								
安全作業と整理整頓の重要性とその実践を繰り返し行い、習慣化する。								
各エンジン系装置の構成、名称、作動を理解した上で、点検・整備方法を理解し、実習試験において、90点以上を目指す。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点 60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)								
〔使用教科書・教材等〕								
三級自動車ガソリン・エンジン、各種単品部品、実習車両								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	2	潤滑装置単品						
	4	エンジンオイル交換						
	2	エンジン本体単品						
	2	冷却装置単品						
	8	L15Aエンジン整備作業						
	4	E07エンジン整備						
	2	充電装置単品						
	2	点火装置単品						
	2	始動装置単品						
	5	総合復習						
2	4	電子制御装置単品						
	4	L15Aシリンダヘッド分解						
	4	補機ベルト脱着						
	4	吸排気装置実車						
	4	消耗品交換作業						
	4	E07Zエンジン整備						
	2	電位測定実車						
	2	電子制御装置 測定						
	2	外部診断器						
	3	総合復習						

授業計画(シラバス)

大教科目	実習 自動車整備作業	小教科目	シャシ系整備(三級)		対象級	専門課程 自動車整備留学生科 1年	作成月日	25/04/01
							開講期	後期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	66時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 期末試験	レポート評価 取組加減
〔授業概要・目的〕								
自動車整備士として必要なシャシ系の点検・整備を行い、理解を深める実習とする。								
〔授業の到達目標〕								
安全作業と整理整頓の重要性とその実践を繰り返し行い、習慣化する。								
各シャシ系装置の構成、名称、作動を理解した上で、点検・整備方法を理解し、実習試験において、90点以上を目指す。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点 60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)								
〔使用教科書・教材等〕								
三級自動車シャシ、総合練習問題								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	2	導入						
	2	バッテリー実車						
	5	ディスクブレーキ構造と整備						
	5	ブレーキ単品Fブレーキキャリパ分解整備						
	5	灯火装置実車						
	5	ブレーキ単品ドラム・ブレーキ分解整備						
	5	ディファレンシャル						
	1	導入とバッテリー実車						
	3	総合復習						
2	4	単品タイヤ交換						
	4	単品ステアリングギヤBOX						
	4	ドライブシャフト実車						
	4	デファレンシャル						
	4	オートエアコン実車						
	4	ホイール・アライメント実車						
	2	単品制動倍力装置						
	2	単品ドラム・ブレーキ、ワイパー						
	2	実車ブレーキフルード交換						
	3	総合復習						

授業計画(シラバス)

[illegible]

授業計画(シラバス)

[illegible]

授業計画(シラバス)

[illegible]

授業計画(シラバス)

大教科目	実習 測定作業	小教科目	測定作業(三級)		対象級	専門課程 自動車整備留学生科 1年	作成月日	25/04/01
							開講期	後期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	13時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 期末試験 レポート評価	取組加減
〔授業概要・目的〕								
三級自動車ガソリン・エンジン整備士として必要な測定要領についての知識を習得する。								
〔授業の到達目標〕								
測定機器の名称や用途を理解し、測定技術の基本を習得し、								
実習試験において、90点以上を目指す。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)								
〔使用教科書・教材等〕								
三級自動車ガソリン・エンジン、三級自動車シャシ、サーキット・テスト、比重計								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
	4	電流・電圧・抵抗の測定						
	4	エンジン系測定						
	4	シャシ系測定						
	1	総合復習						

授業計画(シラバス)

[illegible]

授業計画(シラバス)

[illegible]

授業計画(シラバス)

[illegible]

授業計画(シラバス)

[illegible]

授業計画(シラバス)

[illegible]

授業計画(シラバス)

[illegible]

授業計画(シラバス)

[illegible]